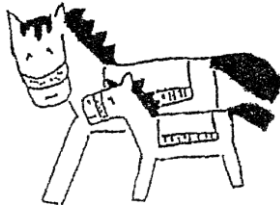




お馬のかあさん
やさしいかあさん
子馬をみながら
ぽっくりぽっくり
あるく

おうまのおやこ

子育ても
あせらず待ちましょ
ポッキリ、ポッキリと



21年 12月 NO. 181

(厚生労働省・高松市委託事業)

〒 760-0044 香川県高松市御坊町2-2
高松保育園内地域子育て支援センター
TEL:087-821-9347 FAX:087-851-0857
<http://www4.ocn.ne.jp/~kouma/>

12月 5日	土	実用筆書き講座 14:00~16:00	日ごろ、筆を持たない方もどうぞ。
12月 11日	金	おはなしの会 10:30~11:30	季節に合ったおはなしが楽しみです。 どなたでもおいで下さい。
12月 12日	土	体験保育 10:00~12:00	同じ年齢のクラスに入って いっしょにあそびましょう。
12月 12日	土	木工教室 14:00~16:00	木製品の修理・修繕も できます。
12月 16日	水	香川みすゞさんの会 14:00~16:00	1年を振り返ってのフリートークや 子育て・孫育ての話をします。
12月 19日	土	体験保育 10:00~12:00	出産予定の方、育児体験を してみませんか。
12月 25日	金	健康・育児相談 11:00~12:00	小児科園医師にゆっくり 相談できます。(予約要)

・毎火曜日 園庭開放(13時~16時)
・上記の活動日以外は13時~18時まで地域開放します
ので、親子でご来園下さい。
(但し、月・日曜・祭日は休み)

育児相談(月~土) 9:00~18:00
しつけや子育てについての悩み、
保育園生活、入園・見学について
の相談もどうぞ。

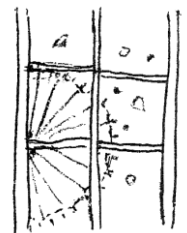
金子みすゞ童謡全集6
さみしい王女・下よ

「母さま、お舟がとおるのよ、
ぎいちら、ぎいちら、櫓をおして。
「まあ、馬鹿だね。」とお母さま、
こちら向かないお母さま。
さみしくあてる、左の頬に、
つめたいつめたい硝子です。

「母さま、それでも七つ寝りや、
やっぱり正月くるでしよか。」
「ああ、来るのよ。」とお母さま。
春着縫ってるお母さま。
このぬかるみが河ならいいな。
ひろい海なら、なおいいな。

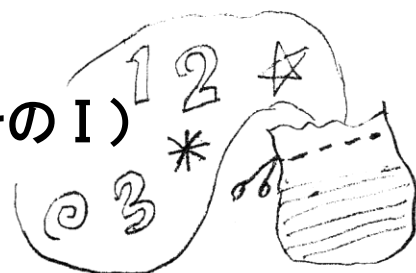
お裁縫しごとしてるお母さま。
氷雨の街をときどき行くは、
みんな似たような傘ばかり。
「母さま、母さま、ちよいと見て、
雪がまじって降っててよ。」
「ああ、降るのね。」とお母さま、

冬の雨



今月は、中田洋二郎先生（立正大学心理学部）から保護者、教師、保育士など子どもに関わる現場の方々へ、今までの相談や体験などを通してお伝えしたいことを本紙の12月・1月の2回にわたってご紹介します。

中田先生からのメッセージ（その1）



☆子育ての大変さを体験して

私は乳児院で子育てボランティアのようなことを十数年続けていました。おかげで授乳後の新生児にゲップをさせるのはプロ級の腕前になっていました。乳児の育児に慣れておりましたので、自分の子どもが生まれた時には、夜の間の授乳を担当したのです。新生児は2、3時間で目を覚ましたり、また眠ったりします。いわゆる多層睡眠と呼ばれる状態にあります。その目覚めころを見計らって、哺乳びんを洗い煮沸消毒し、粉ミルクを溶かし人肌になるまで冷まし、子どもが目覚めたところでそれを飲ませ、またその後もしばらくは抱いてあやし、寝静まったら哺乳瓶を洗って・・・ということを夜間にやりました。明け方の3時に起きて4時過ぎにまた寝て、7時過ぎに勤めにでるという生活を1ヶ月くらいやりました。睡眠時間自体は十分にとっていたのですが、1ヶ月経ったところでダウンしてしまいました。身体中が痛くて丸一日起きることができない日が数日続いたのです。それでこの無謀な試みを断念したのです。

それまで子どもを育てるということがこんなに苦しいことだとは思っていませんでした。この経験から自分自身の身体を通してそれが大変な苦痛を強いられることだと理解しました。それで、母親がそこを乗り切れるのは何故なのかと、あらためて考えてみるようになったのです。それは何かといえば、当たり前のことですが、子どもの発達が絶えず親を励ましているからです。

生まれてすぐの赤ん坊の手に指をあてるとギューツと掴んできますが、これは新生児反射のひとつで把握反射というものです。また、何かの拍子にニーッと笑うことがあります。これも反射の一種で周波数の高い音とか光の揺らめきに反応して出てくる新生児微笑です。男性も無意識のうちに乳児に高い声で話しかけますが、母親の声が高い周波数なので、声をかけた時に新生児は笑うのです。母親は自分を理解して笑ったのだと思って、あやしたり母乳を与えたりします。子どもはあやされる方法を学習し、大人が近寄って話しかけると次第に笑うようになります。これは社会的微笑といわれます。つまり新生児が自分の手を強く握りしめる、自分の顔を見て笑うということがモチベーションになって、親は辛い育児の中で

も自然に子どもに対する愛情が芽生えてくるのです。

なぜ私事の育児体験やこういう乳児の反射のことを話したかといいますと、発達障害がある子どもの保護者が親になることの難しさを知っていただきたかったからです。

自閉的な障害をもつ子どもの場合は、人への反応の育ち方は通常の発達のそれとは異なり、とても遅れます。その遅れが新生児の頃からずっと続いていることは容易に想像できると思いますが、子どもからの刺激が少ない分、親としての感情が育ちにくいのです。

世間は子どもに障害があろうがなかろうが、子どもが産まれれば人は自然に親になれるものだと思っています。しかし、障害がある子どもの親は、育児の辛さを乗り越えるのを子どもの発達によって助けられることもなく、頑張らなきゃいけない！と、必死で努力して親となっていくのです。世間にはこの苦しみが並大抵の事でないことは理解されていません。だから、せめて私たち発達障害の専門家だけでも、まず保護者が親となることを支えることが必要であることを認識したいと思います。それが家族支援の出発点だといえます。



☆気になる子どもってそれは個性？

自閉症スペクトラムという概念があります。

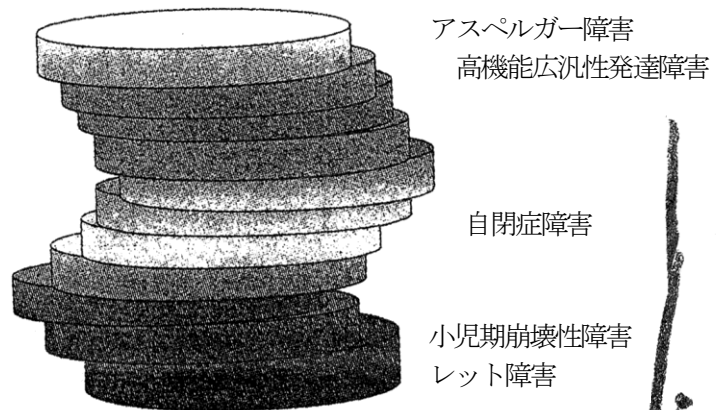
右図にあるように、自閉症の症状が重い状態から軽い状態までつながっているという考え方です。

この図では、パイルを積んで表現しましたが、このパイルがもっと上までつながっていると考えてください。スペクトルとは無色透明な光が、分光器を通すといくつもの色の違う波長からなりたっていることを意味する言葉です。つまり虹ですね。

虹はいくつかの色が境目なく混ざり合いながら変化します。自閉症スペクトラムは、この虹のように自閉症の症状が、重い状態から軽微な特徴へと連続的に変化することを意味する概念です。

アスペルガー障害とか高機能広汎性発達障害という概念が一般に理解されるにしたがって、健常者と思われていた人々の中に、自閉的な障害の特性をもつ人がいる可能性が示唆されるようになりました。これまで、健常と障害は二つに分けられる概念でしたが、しかし、障害の特性があっても普通に生活ができる、中には一般の人以上に偉業を成し遂げている人もいることが示唆されるようになってきたのです。

自閉症スペクトラム



そうなる、障害って何なのだろう？障害なんて言わないで、それを個性と考えたほうがいいのではないかと、思えるようにもなります。親であれば、なおさら、そういう気持ちが強まっていきます。障害は個性でしょうか？あるいは障害と個性とは異なるものでしょうか？この問いの答えは、立場によって異なるものであるように思います。

私は療育施設で仕事を始めたのですが、そこには知的障害や自閉症の子どもがたくさんいました。言葉をひと言も話せない子ども、視線がまったく合わない子どもなどさまざまです。その子どもたちはひとりひとり違っていました。そういう意味ではみな個性的な子どもたちでした。でも、個性的であってもその子どもたちの問題は個性ではなく、障害であることは明らかでした。

ところが今「軽度」発達障害と呼ばれる子どもたちは、外見上では障害は分かりません。知的には問題がないし、実際、この子どもたちにとって障害というのは性格とか能力のほんの一部のように思えます。彼らの起こす問題にしても、その激しさや頻度は別にして、障害がない子どもにも認められる乱暴や反抗や学習上の問題です。

自閉症スペクトラムが自閉症という障害の中の連続性を意味しているとしたら、「軽度」発達障害は障害と健常の連続性を意味しているといえるかもしれません。障害の特性がある子どもでも、先生との折り合いが良かったり、友人関係の形成に問題がなければ、破綻を起こさないのですから、ひょっとすると「軽度」発達障害においては、障害は個性なのかもしれないと思えたりします。

障害は個性なののでしょうか？それに答える前に、親が子どもの障害をどのように受け止めるのか、そのことを理解する必要があるように思えます。そのことについて次回に続きます。

(神奈川LD協会 VOL. 56 2009秋号より)



中田洋二郎先生 プロフィール

早稲田大学大学院文学研究科修士課程修了。臨床心理士。専門は、発達臨床心理学。東京都民生局心身障害福祉部心理判定員、国立精神・神経センター精神保健研究所室長、福島大学大学院教育学研究科教授を経て、現在に至る。著書として、「発達障害と家族支援—家族にとっての障害とはなにか」（学習研究社）、「子どもの障害をどう受容するか—家族支援と援助者の役割」（大月書店）など。